帯広百年記念館ワークシート　開拓

年　組 名前

こんにちは。依田勉三です。このワークシートを使いながら、百年記念館の展示室（てんじしつ）にあるモノや説明をじっくり見てみましょう。



問１　晩成社のコーナーにある、下の写真をさがしてください。そして、服のせなかにある文字を書いてください。



十勝ではこの肉を食べる人がほとんどいなかったので、函館でお店を開きました。

函館まで歩いてこの動物を運んだため、お金と時間がかかってしまい、なかなか上手くいきませんでした。



問２　晩成社のコーナーにある、下のラベルをさがしてください。そしてラベルのマークを書いてください。



お肉屋さんをやめた後、バターをつくって東京で売ろうと考えました。「晩成社」という会社名から、バターの名前を「マルセイバタ」と名付け、かっこいいラベルを作って売りました。東京に、できたばかりの鉄道を使って、13日くらいで運びました。やっぱり、運ぶのが大変でした。



問３　晩成社のコーナーにある、依田勉三の日記をさがしてください。そして、何さつめの日記か、数字を書いてください。



私はほとんど毎日、日記を書いていました。一つの日記でだいたい 13 万字くらい書きます。そして、死ぬまでに 17 さつの日記を書きました。

日記をしらべると、昔のできごとを学ぶことができます。



おまけ

みなさんは身長何センチですか？　私の身長は、だいたい 155 センチだったと言われています。展示室には、私の着ていた服やぼうしがあります。展示や写真を見て、私のすがたを想ぞうしてみてください。



問４　下は、帯広の駅に十勝じゅうから豆が集まってきたようすがわかる写真です。矢じるしでしめしたモノのなかに、豆が入っています。このモノは「俵」と言います。「俵」は展示室の中に一個だけあります。さがして、漢字の読み方を書いてください。



俵

今から 100 年くらい前に、みんなで豆をつつんで、みんなで鉄道で駅から送る仕組みができ、十勝の豆が有名になりました。

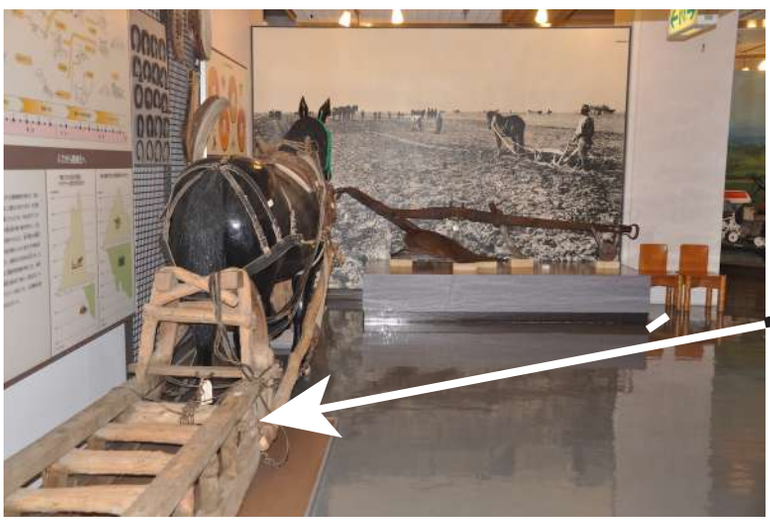
問５　下の写真をさがしてください。写真から消えた建物があるので、その建物の絵をかいてください。



今から 90 年前くらいの写真です。豆が売れて、ひとびとのくらしがよくなると、帯広に色々なお店がふえます。みなさんに絵をかいてもらった建物は、昔の藤丸（ふじまる）デパートです。



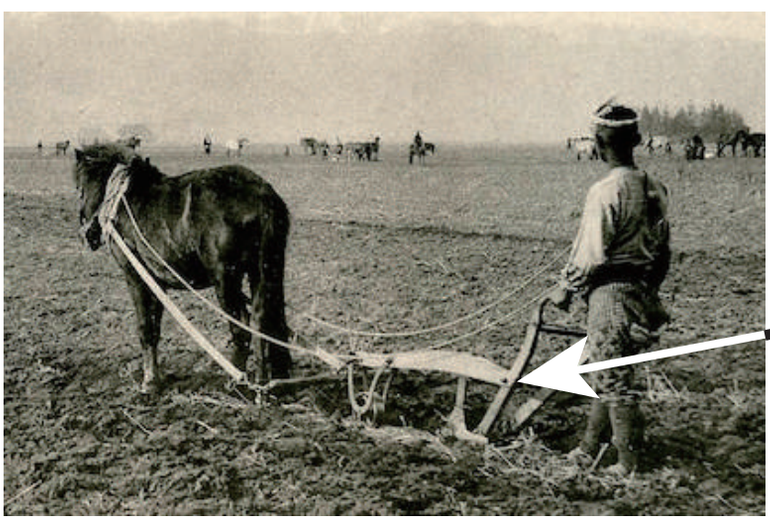
問６　下の開拓についての道具を探して、道具の名前を書いてください。



橇

冬に、重い荷物を運ぶ時に使います。
今は、荷物はトラックではこびますね。





カタカナ３文字で

土をひっくり返して、畑を作ったり、タネをまきやすい畑にする道具です。
今は、トラクターで作業します。



トラックやトラクターがない時代は、　　が重要な役割を持っていた。

トラックやトラクターは、今から 60 年前くらいから増えていきます。

問７　展示室で自分が気になった、開拓にかんけいするモノの絵をかいてみましょう。
また、そのモノの名前も書きましょう。もしわかれば、使い方も書きましょう。
さいごに、自分がなぜえらんだのか？　えらんだ理由も考えて書いてみましょう。

名前

使い方

選んだ理由